平成5年(1993年)9月15日　第541号

市の鳥
カワラヒワ

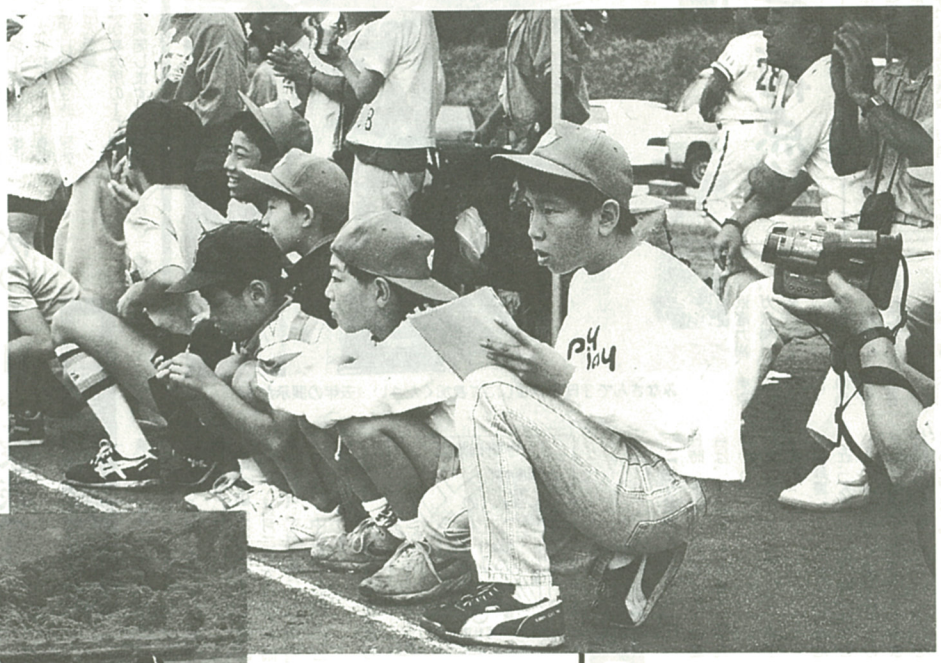
広報えびな

編集・発行
海老名市役所広報広聴課
〒243－04
神奈川県海老名市勝瀬175
☎（0462）31・2111

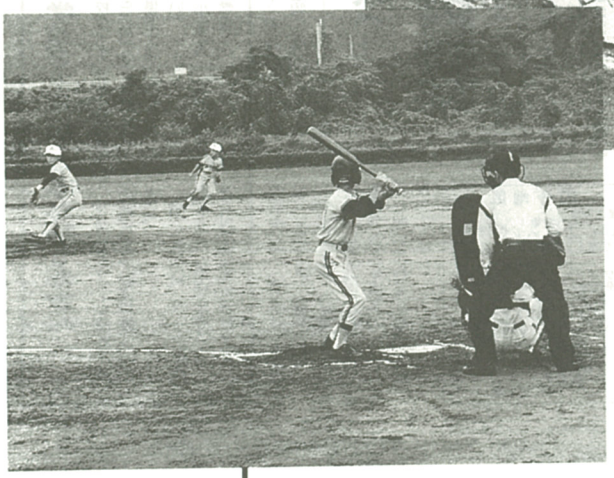
―子供たちが友好都市白石を訪問―

白石 海老名 広がる交歓の輪

八月二十日から二十二日までの三日間、市内の小学生三十三人が、友好都市の宮城県白石市を訪れました。この訪問は、両市の親善交流事業の一環として行われているもので、市少年野球選抜チームが白石市の選抜チームと交流試合を行ったほか、市内の小学校から選ばれた代表が「ふるさと豆記者」として、白石市の小学校や和紙工房などを取材してきました。今回は、両市の子供たちがお互いに親ぼくを深めた三日間の様子を紹介します。

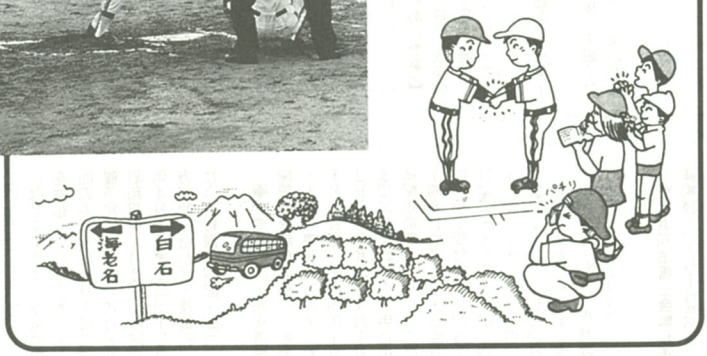


真剣な表情で交流試合を取材する「ふるさと豆記者」



熱戦を展開する両チーム

交流試合と取材で大きな宝物できた



えびなっ子白石で大活躍

「リィーリィーリィー…」
という選手の声、
「頑張れ！よし、いい球だ打て！」
という声援が白石市の野球場に響く。

八月二十一日、海老名市の少年野球チームから選抜された児童二十人と、白石市選抜の少年野球チームが、それぞれ二チームに分かれて一試合ずつ交流試合を行いました。

第一試合、海老名市は、初戦の緊張のためか普段の実力が出せず七対二で惜敗、第二試合は投手戦となり、ファインプレーも続出し、一点差を守りきった海老名が二対一で勝利を収め、結果、一勝一敗で去年に続き仲良く引き分けました。

「白石チームの選手は、体が大きく、パワーを生かした試合をしていますね。海老名選抜チームは、勝ちたいという気持ちも強く、息もぴったり合っていました。十月には、海老名市に白石市チームを迎えて交流試合が行われるそうですが、練習を重ねて、ぜひ二連勝したいですね」と、海老名市チームの監督は話していました。

この交流試合の熱戦をグラウンドの傍らで、カメラとノートを持って真剣に見詰めているのが「ふるさと豆記者」です。豆記者は、市内小学校から一人ずつ選ばれた代表で男子七人・女子六人の六年生十三人。

豆記者たちは、少年野球交流試合の取材のほかにも、小学校二校を訪れ、白石市の子供たちから学校の行事などの様子を聞き、その後、こけし工房や武家屋敷も訪れて、同市の歴史や伝統についても学びました。

今回の交流事業は、子供同士による交流と親ぼくを通して、多世代にわたる交流の礎になるようにと行われたもので、子供たち三十三人は、白石市の二十一家庭にホームステイをしました。

どの家庭からも、温かく迎えられた海老名の子供たちは、〝白石のお母さん〟の手料理や、白石の子供と一緒におふろに入ったり、テレビゲームをしたりと、家族の一員になりきっていました。

子供たちからは、「交流試合で、ホームステイ先の子が打席に立ったとき、思わず白石チームを応援してしまうほど仲良くなり、何か〝大きな宝物〟ができたような気がします」といった感想も聞かれ、充実した三日間を過ごしました。

――関連記事は、四・五面に掲載――

第二東名自動車道

都市計画公聴会を開催

10月28日

第二東名自動車道の計画素案をまとめましたので、公聴会を次のとおり開催します。

▽日時　十月二十八日(木)午後七時～九時。
▽会場　市中央公民館。
計画素案は、九月十七日(金)から十月八日(金)まで神奈川県都市計画課及び市都市計画課で閲覧することができます。＝土・日曜日は除く。
公聴会での公述を希望される方は、閲覧期間中に公述申出書を市都市計画課に提出してください。公述の申し出がない場合は、公聴会の開催を中止します。
▽問い合わせ　県都市計画課(☎045・201・1111内6355～6)市都市計画課(内611・612)。

東名高速道路の集中工事

東名高速道路は、十月二十五日(月)から十一月二日(火)にかけて集中工事が行われます。期間中は大きな渋滞が予想されますので、お出かけの際は、道路交通情報にご注意ください。
▽集中工事期間　十月二十五日(月)午前六時～十一月二日(火)いっぱい(ただし10月25日東京～御殿場間については午前9時開始)※東名全線の随所で車線規制。
▽通行止め　十月三十日(土)午後六時から翌朝七時まで、厚木IC～御殿場IC(上下線)(ただし、大井松田IC～御殿場IC間は30日午後9時～翌朝7時)＝雨天順延。
※そのほか数カ所のIC間で通行止めを実施します。
工事による渋滞を少なくするため、工事をまとめて集中的に行います。また、期間中の迂回路として、小田原厚木道路、箱根新道をご利用ください。みなさんのご理解とご協力をお願いします。
▽問い合わせ先　日本道路公団横浜管理事務所(☎045・922・1141)。
▽道路情報　日本道路交通情報センター(☎03・3264・1331)東名ハイウエイテレホン(☎0467・66・1620)。

第14回みんなの消費生活展

25日から

暮らしの中の安全再点検

子供たちの未来のために

科学技術の進歩は、いろいろな新素材や新製品を生み出し、生活様式を大きく変えてきました。しかし、本来私たちの生活に利便を提供するはずの商品によって思いもかけない危害を被ることも少なくありません。
このような危害の要因は、みなさんの日常生活の中に数多く潜んでいます。そして大人はもとより、お子さんまでもが、この危険にさらされているのが現状なのです。
商品による危害を被ることなく、安全な消費生活を送ることは消費者にとって最も基本的な要求です。
「第十四回みんなの消費生活展」は、九月二十五日(土)から三日間「安全ですか？　あなたのくらし再点検～子供たちの未来(あす)のために～」をテーマに、「暮らしの中の安全」を通して「製造物責任」について考えるきっかけとして開催します。ぜひ、みなさんでご来場ください。
▽日時　九月二十五日(土)～二十七日(月)午前十時～午後六時(最終日は午後五時まで)。
▽会場　ダイエー海老名店三階中央モール。
▽内容【県市共通コーナー】商品(大型テレビ、洗濯機)など▼子供をとりまく危険(おもちゃ、ベビーベッドなど)▼知っておきたい安全のためのマーク▼製造物責任先進国とわが国の警告表示の違い、などのパネル展示。
【市独自コーナー】
消費者団体コーナー(市内8消費者団体参加)▼協力団体コーナー(神奈川県計量検定所・厚木消費生活センター、海老名市米消費宏ス推進協議会・市消防本部・市消費者団体連絡会、東京ガス㈱・NTT)▼消費生活相談コーナー(26・26日)専門の消費生活相談員がご相談に応じます。
▽問い合わせ　商工課(内511)。

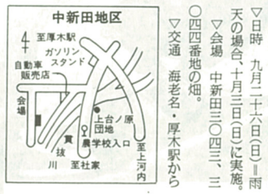
みなさんで3日間の催しにご参加ください（去年の展示から）

秋の1日―ご家族で

秋の一日を、ご家族や友達と誘い合わせてご参加ください。各会場とも、多少汚れてもよい服装で手袋、軍手などをご用意ください。

■さつまいものほりとり

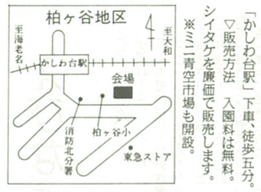
【中新田地区(ふれあい農業)】
▽日時　九月二十六日(日)＝雨天の場合、十月三日(日)に実施。
▽会場　中新田三〇四三、三〇四四番地の畑。
▽交通　海老名・厚木駅から



【柏ケ谷地区(土の日)】
▽日時　十月三日(日)＝雨天の場合は、四日(月)に実施。午前九時から。
※品物がなくなり次第、終了します。
▽会場　柏ケ谷一〇八八番地付近、大貫いたけ園「柏ケ谷小学校東側」当日は周辺に「土の日」のぼり旗を掲出します。また当日、午前九時ごろ「花火」を打ち上げます。
▽交通　海老名駅から相鉄線

■シイタケ狩り

「かしわ台駅」下車、徒歩五分。シイタケを廃価で販売します。
※ミニ青空市場も開設。



【国分地区(ふれあい農業)】
▽日時　十月三日(日)＝雨天の場合は、十月十日(日)に実施。
▽会場　国分北一―三一六一番地の畑。
▽交通　海老名駅から徒歩十分。
▽参加方法　直接ご来場ください。ほりとったさつまいもを廃価で販売します。
▽問い合わせ　小山(☎31・6024)。

学校プール(一般開放)で忘れ物した方へ

学校プール一般開放期間中に忘れ物をされた方は、次の場所に問い合わせてください。
☆小学校プールの場合はその学校へ。
☆中学校プールの場合は市教育委員会体育課(内607)まで。
預り期間は、小・中学校とも九月三十日までです。それ以後は処分されます。

神奈中バス「長後行」で農学校前バス停下車、徒歩十分。
▽参加方法　直接ご来場ください。ほりとったさつまいもを廃価で販売します。
▽問い合わせ　石井(☎31・0275)。

情報コーナー

◆成人式運営委員を募集
市では、毎年成人式対象者のみなさんに運営に携わっていただき式典の司会、受付などを担当する運営委員を募集しています。第1回の委員会は10月中に開催予定です▽成人式対象者昭和48年4月2日から同49年4月1日までに出生した方▽問い合わせ・連絡先　社会教育課(内606・607)。

◆平成6年度・高座清掃施設組合職員募集　▽職種・人員　事務職・現業　若干名▽資格　昭和39年4月2日から昭和51年4月1日までに生まれた方▽申込用紙配布期間　10月1日(金)は除く▽受付期間　10月7日(木)・8日(金)午前9時～正午、午後1時～5時▽試験日・会場　10月15日(金)本郷老人福祉センター▽問い合わせ　庶務課(☎38・2094～5)。

◆横浜司法書士会無料法律相談　「10月1日法の日」にちなんで開催します▽日時　10月2日(土)午前10時～午後4時▽会場　市中央公民館2階▽内容　相続・遺言・登記など▽問い合わせ　横浜司法書士会(☎045・641・1377～2)。市役所市民相談室(内390)。

◆危険物取扱者試験と受験準備講習会　▽期日　11月14日(日)▽会場　東海大学湘南校舎(平塚市北金目1111―7)▽種類　甲種、乙種全類、丙種▽願書　市消防本部で配布▽願書受付　10月6日(水)プロミティー あつぎビル1階、7日(木)ひらつかスカイプラザ平塚MNビル11階第2会議室、14日(木)15日(金)神奈川県政総合センター(横浜市)
【受験準備講習会】▽日時　10月24日(日)午前9時40分～午後4時50分▽場所　市中央公民館▽人員　先着100人▽費用　7千330円(テキスト代を含む)▽申し込み　市消防本部▽問い合わせ　防災課(☎31・0355、内236)。

◆緑化講習会・参加者募集　花を中心に市緑化推進協議会が開催します▽日時・場所　第1回「土と肥料について」10月23日(土)午前10時～正午、市役所202会議室、第2回「バラを楽しむ」10月30日(土)午前8時30分～午後4時、県立フラワーセンター大船植物園▽募集人員　先着35人、受講料無料▽申し込み　電話で公園緑地課内「市緑化推進協議会事務局」(内624)。

◆平成6年度私立幼稚園新入園児の募集時期について　来年4月に県内で入園する園児の募集時期などは私立幼稚園団体で統一しています▽募集要項　10月15日(金)から配布、保護者の転居、転勤などで一度納付された入園時納付金の返還を求められた場合の措置も明示することになっています▽願書受付　11月1日(月)から▽問い合わせ先　各私立幼稚園、または神奈川県県民部私学宗教課(☎045・301・1111内341～1)。

情報は広報広聴課へ　市役所　〒243-04 海老名市勝瀬175　☎31・2111(代)

えびな

第18回ふるさとまつり写真コンクール

金賞は佐藤祥樹さんの作品

粒ぞろいの応募151点

みごと金賞を獲得した作品「祭りは楽しい」

「第十八回えびな　ふるさとまつり写真コンクール」の審査会が八月二十五日、市役所で行われ、河崎英男氏（神奈川県写真作家協会副会長）の審査で入賞作品が決まりました。
応募者二十六人、作品数は計百五十一点。カラー・キャビネ判で、河崎さんは、
「技術的なレベルは高く、構図にも上手な作品が目立った反面、みごとや踊りなどのいわば〝まつりの表舞台〟だけを題材にする人が多く、『これはユニークだ！』と感じる作品はやや少なかった。しかし、撮影者の意図は十分伝わる粒ぞろいの作品が多かったので、各賞を選ぶのに苦労しました。」
と、講評されました。
入選者の氏名と作品は次のとおりです。
▽金賞　「祭りは楽しい」佐藤祥樹（中野・会社員）、講評＝オーソドックスな写真だが、一人ひとりが祭りを楽しんでいる様子が良く出ている。ストロボの使い方も上手。
▽銀賞　「光菁楽」小野田留蔵（柏ケ谷・無職）
▽銅賞　「華」米山佳樹（下今泉・学生）
▽佳作　「祭りだワッショイ」池田利雄（国分南）、「熱演のあとで」石田博宣（上鶴）、「園児の太鼓」松山兼造（寒川町）、「神輿の前で」小坂文雄（上今泉）、「お母さんのを見て」横山征（大谷）、「東柏太鼓」原田力（国分南）、「夜のみこし②」山田誠（河原口）、「ママと一しょの盆踊」宮本中子（中央）
応募作品の展示は、九月十六日から二十八日まで市役所一階のエントランスホールで行っていますので、ご観賞ください。

10月1日→7日は「公証週間」

十月一日(金)から七日(木)までは「公証週間」です。
公証制度とは、契約や遺言の際に、法務大臣の任命した公証人が公文書である公正証書を作成し、後日のトラブル防止、取引の安全と遺言の完全な実現を図るものです。
法律の専門家である公証人が当事者に親身のアドバイスをしながら法規にかなった公正証書を作成します。
不動産の売買、土地建物の賃貸借、金銭の賃貸など大切な契約や遺言には公証制度をご利用になると安心で確実です。
▽お問い合わせは、厚木公証役場(☎21・1813)または横浜地方法務局へ、ご相談は無料です。

契約と遺言は公正証書に

―ご相談は無料です―

神奈川県保健医療セミナー

―海老名コース

海老名市医師会の医師を中心とした講師陣が、病気の予防と暮らしに役立つ保健をテーマにお話しします。
▽期間・場所　十月一日から十一月十七日までの間の八日間・市保健相談センター。
▽対象　二十歳以上の方五十人。
▽受講料　無料（テキスト代400円＝希望者のみ）。
▽その他　五日間以上出席された方には修了証を交付。
▽申し込み　電話で同センター(☎35・7880)へ。

心は自信のハーモニー

NHK音楽コンクール県大会で銀賞に輝く 海老名中学校合唱部

「みんなの心をひとつに歌うことが楽しい」という部員たち

現在、市内の中学校で合唱部があるのは海老名中学校だけ。その海老名中学校合唱部（谷川直子部長、36人）が八月七日、県立音楽堂（横浜市）で行われた「第十回NHK全国学校音楽コンクール県大会」に出場し、参加四十校中、見事銀賞を受賞した。
四年前から本格的活動を始めた同部にとって、大会四回目の出場で得た〝栄冠〟であり、創部以来の快挙だった。
顧問の西原史朗先生は「上手下手ではなく、合唱を通じて聞いている人たちに、何かが伝わったのではないでしょうか」と話す。部員たちも「それほど緊張はしませんでしたし、歌をうたうときには会員の気持ちがひとつになりました。でも、銀賞と決まった瞬間は信じられないという気持ちが先で、声も出ませんでした」と喜びを隠せない。
同合唱部の練習は、木曜日を除く週五日間、朝と放課後合わせて一時間半。部員は女子生徒だけのせいか、ふだんは、とても明るくておしゃべりが絶えないが、練習が始まると精神を集中して、発声練習を中心に歌い込む。練習後も、部員が西原先生に個人レッスンを望むほどの熱心ぶり。マスターした曲は、大会で歌った「烏かねもん勘三郎」などアカペラの曲を中心に八曲。アカペラは伴奏がないだけに自分の耳を頼りに他のパートに合わせて歌うため、集中力が要求されるが、発声と音感がよくなりレベルアップにつながるという。
また、休憩時間中も互いに発声方法など教え合ったり、先生を囲んで意見を出し合ったりするため、「私も生徒同様に毎日が勉強の連続です」と西原先生。
こうした部員たちの積極的な歌への取り組みが同部の特徴の一つでもある。
「みんなで力を合わせて明るく歌うことが楽しい」というように、これからも心をひとつにした彼女たちの歌声は、聞く人に感動と潤いを与えてくれることだろう。

みんなの伝言板

◆人権啓発イベント　▽日時　9月23日(祝)午後2時開演（1時開場受付）▽会場　新都市ホール（横浜そごう9階）▽定員　750人▽入場無料▽内容　一人芝居「身世打鈴・シンセタリョン（身の上話）」出演＝宋富子（そん・ふじゃ、映画マリア・ルス号事件資料編―人間の港　ヨコハマ―▽主催　横浜国際人権センター(☎045・261・3855)。

◆第2回スポーツ公開講座（Aコース）「レクリエーションゲーム」　▽日時　10月22日(金)午後1時～3時半▽会場　県立県央地区体育センター（厚木市温水）▽対象　地域のスポーツクラブやサークルなどで指導に当たっている人または指導者を目指している人、体育指導委員など地域のスポーツ指導に当たっている人▽講師　山田征夫氏（健康レクリエーション研究所長）▽定員　40人▽参加料　無料▽申し込み・問い合わせ　県央地区体育センター(☎47・7211)に直接来所するか電話で。体育指導委員の方は市教育委員会に申し込んでください。

◆第2回「かながわ豚(豚)まつり」開催　▽日時　9月26日(日)午前11時～午後3時▽場所　東京農業大学厚木中央農場（厚木市船子）・厚木市教育の森〇交通　小田急本厚木駅下車、バス「森の里」または「青山学院」行で農大入口下車、徒歩▽入場無料、ご家族そろってお出掛けください。駐車場に限りがあります、バスでどうぞ〇問い合わせ先　社団法人神奈川県養豚協会(☎38・2502)。

◆神奈川県太鼓フェスティバル「天地の響」　地元・東柏太鼓ほか発会した太鼓連盟の発表会です▷日時　9月26日(日)午後1時開演▷会場　市文化会館▷入場料　千円▷連絡先　島田(☎33・1697)。

◆なぎら健壱講演会　▷日時　10月12日(火)午後7時開場▷会場　ザ・ウイングスエビナ　スカイホール▷テーマ　なぎら健壱流話し方教室▷入場料無料、電話で先着300人まで▷受付時間　毎週月、火、木、金曜日の午後1時～5時▷問い合わせ　海老名青年会議所(☎33・1805)。

◆楊名時気功太極拳・海老名教室へのお誘い　心身ともにリラックスし、心と体を鍛えます。また日常のストレス解消に最適です。呼吸法を重視した中国伝承の健康法を、あなたも始めてみませんか、見学歓迎▷日時　毎日曜日午後7時～8時半▷場所　中新田コミュニティセンターなど▷連絡先　高橋(☎0427・43・7087)。

◆E・W・A・C・会員募集（アメリカ人の先生に英会話を習っている主婦のグループ）▷日時　毎木曜日午前10時～11時半▷会場　市中央公民館▷内容　日常会話の学習、料理や手芸も▷会費　月4千円▷連絡先　増田(☎35・6066)。

◆女声合唱コール・エコー団員募集　▷日時　毎水曜日午前10時～正午▷場所　市青少年会館▷会費　月額3千500円▷連絡先　中澤(☎32・6569)。

◆フルート団員募集　活動再開のレーベンバッハ吹奏楽団です。全パートも募集中▷練習日　毎日曜日午前8時半から▷場所　有馬中学校▷団費　社会人2千円、学生500円▷連絡先　根本(☎54・3562)工藤(☎38・0352)。

◆第5回野の花会はり絵展・和紙画▷日時　9月28日(火)～10月3日(日)海老名サティ文化ホール▷出品作品　風景、花など約50点▷連絡先　河合(☎31・6786)。

ご厚志ありがとう

◇市みどり基金へ
▽十万円＝井上昭子(上今泉)
敬称略

このコーナーに掲載を希望される方は、原稿を作成して……◎広報広聴課(内624)へ。スペースの都合で掲載できない場合もあります。

友好都市で充実の3日間！

豆記者白石市を訪問

八月二十日から三日間、市内の小学生十三人が〝記者〟となって友好都市である宮城県白石市を訪れ、同市の施設や小学校の取材を行い、現地の小学生と交流を深めてきました。この「ふるさと豆記者」訪問は、友好都市訪問交流事業の一環として行われたもので、初めての試みでした。メモ帳とカメラを手にした豆記者たちは、白石市で何を見て、何を感じてきたのでしょうか。今回は、豆記者たちの活躍を紹介します。

宿泊先で深まる交流

八月二十日午前六時半、ふるさと豆記者の一行は、少年野球チームのメンバーとともに海老名市役所を出発しました。「友達ができるかな、楽しく過ごせるかな（小笠原さん談）」といった不安も、バスの中で行われたゲームを合っかけに解消。お互いに打ち解け合い、車内に笑い声が響きわたりました。

白石市には午後一時半に到着。市役所への表敬訪問を終えた一行は、市内の小学校へ。最初に訪れた福岡小学校では、同校の児童たちの歓迎を受け、白石市の概要などの説明を聞いた豆記者は、「僕らの仕事だ」と、さっそくメモに書き留め始めます。

次に訪れた大鷹沢小学校では、「ウエルカム海老名」と書かれた文字に出迎えられました（写真左）。同校は児童の創作力の育成に力を入れており、休み時間に行うゲームなども児童自身が考案しています。その一つ「ヘビオニ・パート3」を教えてもらった豆記者の大半は、「帰ったら僕の学校でもやるぞ（藤本くん談）」と、すっかり夢中。このゲームを通じて、同校の児童たちと仲良しになってしまいました。

▲大鷹沢小学校では「ウ

▲歓迎交流会で宿泊先の人たちと対面

四時半、一行は歓迎交流会が行われる舞鶴会館に到着。豆記者たちの顔がやや緊張ぎみに見えるのは、ホームステイ受け入れ先の人たちとの初対面が待っているからです。しかし「ホームステイのおじさんやおばさんは、やさしそうな顔をしていた（上沢くん談）」ので、一行はほっと、ひと安心。

海老名、白石両市の野球選抜チームの紹介などが済んだ後、男子豆記者は各家庭に、また女子は全員北斗山荘（個人の別荘）に宿泊しました。最初は「自分の家のつもりで楽にしてね」と言われても、やっぱり〝お客様〟のようになってしまった（菊池くん談）」ようですが、白石の人たちの温かいもてなしを受け、後日、「宿泊先でのことが一番楽しかった」と多くの豆記者が話していました。

女子が泊まった山荘には、福岡小学校分校の女子児童が同宿、やはり最初は「互いにうじ・うじしていた（小笠原さん談）」そうですが、一緒に夕食の仕度をしたことで仲良くなったとのこと。

ホームステイ先の人たちと一緒に、花火、灯ろう流し、バーベキューを楽しみ、クワガタが捕れる秘密の場所まで教えてもらった豆記者たちにとって、白石市は〝第二の故郷〟に思えたのではないでしょうか。

こけし工房での制作（藤本くん撮影）

▼同じように描いてもこけしの表情は全部違う

ホームステイ先では、もちつきも行われた

◀武家屋敷に興味津々

中野さん撮影

交流事業参加者

（　）内は小学校、敬称略

ふるさと豆記者

神原　洋子（海老名）
廣嶋　辰之（有　鹿）
安藤美紗希（柏ケ谷）
小笠原徳子（有　鹿）
長崎　隆志（大　谷）
藤本　太輔（上　星）
菊池　大祐（中新田）
内田　慶（門沢橋）
加藤　淳（東柏ケ谷）
中野　聡子（社　家）
前田　瞳（杉久保）
上光　咲子（今　泉）
上沢　真平（杉　本）

野球選抜チーム

中鉢　健太（今　泉）
深田　大樹（有　鹿）
中軽米　真（〃　）
新里　孝志（有　鹿）
守谷　拓磨（東柏ケ谷）
出島　英彦（〃　）
今井　英二（〃　）
古都　秀彦（〃　）
橋本　理紘（大　谷）
草薙　竜輔（杉久保）
青木　崇（〃　）
飯田　真哉（〃　）
浅岡健太郎（有　鹿）
石垣　輝雄（〃　）
鉾崎　聖宗（〃　）
吉新　裕司（〃　）
宮原　公司（今　泉）
荻野　直人（杉久保）
二ツ木　佑（〃　）
小林　貴晃（中新田）

巡回おはなし会

10月の相談

市民相談室　市役所2階（☎33・4100直通）

電話による相談も受け付けています。法律相談、登記相談は予約制で相談日の一カ月前から予約ができます。

社会福祉協議会　市総合福祉会館内（☎35・0220）

高齢者の職業相談は、対象はおおむね65歳以上の方。

その他

青少年相談は、市図書館併設の青少年相談所（☎32・1011）で、教育相談は、市図書館併設の教育センター（☎34・8700）で。事前に電話で申し込みを。就学相談は、教育委員会指導室（☎31・2111内566）で。幼児相談は、わかば学園（☎35・2703）でそれぞれ行っています。

※以上の相談は、すべて土曜・日曜・祝日が休みとなります。

場所	こんなとき	相談名	日	時
市民生活全般にわたる市政に関して要望があるとき	市政相談や、一般	平日	8：30～17：00	
法律問題で弁護士に相談したいとき	法律	毎週水曜日	10：00～16：00	
消費生活全般にわたるサービスや商品について相談したいとき	消費生活	毎週月曜日	10：00～16：00	
登記・相続について知りたいとき	登記	14日	13：00～16：00	
不動産に関する相談をしたいとき	不動産	12日		
近隣問題・戸籍・相続などについて相談したいとき	人権	8日		
国・県・市などの仕事に意見や苦情があるとき	行政	22日		
年金について知りたいとき	年金	19・5日	10：00～15：00	
婦人のいろいろな悩みについて相談したいとき	婦人	7日		
建築に関することについて相談したいとき	建築	15日	9：30～12：00	
住宅の増改築について相談したいとき	住宅	25日	9：00～12：00	
高齢者の就職や生活について相談したいとき	高齢者の職業	平日	9：00～16：00	
ボランティアをしたいとき・派遣を希望するとき	ボランティア	毎週（火）（水）		
お子さんの非行などの反社会的問題行動で悩んでいるとき	青少年			
お子さんの登校拒否などの教育について相談したいとき	教育	平日	9：00～16：00	
心身の障害などのあるお子さんの就学について相談したいとき	就学	平日		
心身の発達に遅れがあるお子さんについて相談したいとき	幼児	平日	9：00～16：00	

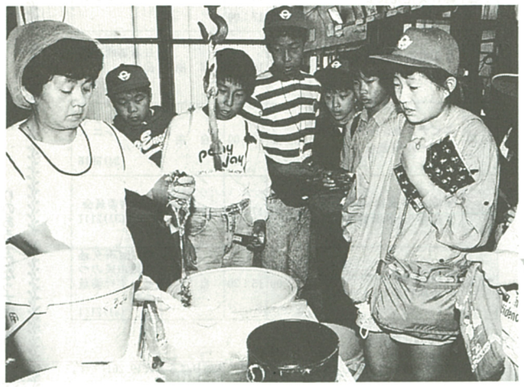
わかば学園　お子さんについて相談したいとき

指導室　心身の障害などのあるお子さんの就学について相談したいとき

教育センター　お子さんの登校拒否などの教育について相談したいとき

社会福祉協議会　高齢者の職業について相談したいとき

市民相談室（受け付けは終了時刻の10分前までとなります）



和紙工房で和紙の制作過程を取材する豆記者たち

エルカム」と出迎えられた（高谷くん撮影）

独創的なこけし作る

二十一日午前九時、白石川緑地公園内の野球場で、海老名、白石両市の選抜チームによる交流試合が始まりました。両チームとも、この日のために練習を積み重ねてきただけあって、豆記者も筆を止め、思わず見入ってしまう好プレーが続出しました。二試合の結果は一勝一敗。でも、お互い友達同士になったのだから、「引き分けで良かった（中野さん談）」という声も…。

第一試合を取材した二行は、十時に和紙工房へ到着。平安時代からの伝統を引き継ぐ「白石和紙」制作の様子を、つぶさに見学しました。

次に訪れたこけし工房では、全員がこけしの絵付けに挑戦。「こけしの顔には、その顔を描いた人の心が表れる」――絵付けを指導をした工人（こけし制作者）の言葉通り、豆記者が描いたこけしの表情は千差万別です。

最後の見学場所である市指定文化財の武家屋敷では、約二百う（小笠原さん談）」と絵付けしたこけしが、「独創的だ」と褒められる一幕も…。

弥治郎系こけしの発祥地である白石市では、毎年五月に「全日本こけしコンクール」が開かれています。

二日目最後の訪問先は、スパッシュランドしろいし。ここは小原温泉から湧き出たお湯を利用した市民リゾート施設で、豆記者たちは五十㍍プール、泡湯、打たせ湯などに入って心身ともにリラックスした様子でした。

城下町として栄えてきた白石市。最終日の二十二日は、その白石城址見学から始まりました。白石市では第三次総合計画に基づき、現在、白石城の復元工事を行っています。豆記者たちは、石垣の上に組まれた巨大な足場を見上げて、完成後の雄大なお城を想像していたようです。

◀建設中の白石城

上沢くん撮影

六十年前の屋敷と自分たちの家を比べ、その違いに興味津々。「家の屋根がちょっと不思議（加藤くん談）」と感じるのも、現代っ子には無理のないことです。

午前十時、すべての日程を終えて海老名に帰る時間です。バスの前では、豆記者たちがお世話になったホームステイの人たちと、名残り惜しそうに話をしたり、記念写真を撮ったりしていました。「今度は海老名で会いましょう」という言葉を残し、充実した二日間の交流は終了。一行は帰路につきました。

並ぶ家を東に見ながら概高七十五㍍の丘陵上にある白石城跡を見学しました。仙台藩内では、青葉城を除き明治維新まで続いた唯一の城だったそうです。来年の十月には白石城が新しくよみがえるということで、現在はまだ石垣を積み上げた段階でした。総工費は二十億円というとなかなか、きっとすばらしいお城が出来上がることでしょう。楽しみです。

その後、武家屋敷を見学しました。木造平家建ての屋敷は、寄棟造りで屋根は茅葺（かやぶき）で、昔は馬が大切なので家の中で飼っていたということや、家の中にトイレがなかったという話を聞いて驚きました。現代のような便利な世の中では、考えられないような質素な生活を感じました。

見学後、名ごり惜しかったけど、白石市のお世話になった人々や友達とお別れして、たくさんのあたたかいもてなと思いを胸に、白石市を後にしました。白石市のみなさん、どうもありがとう。夏休みのすばらしい思い出がつくれました。

ふるさと豆記者たちは、白石市での取材を通じてさまざまな感動を体験しました。その模様を記者の一人、上光咲子さんに報告してもらいます。

私たち「ふるさと豆記者」十三人と、少年野球チーム二十人は、八月二十日午前六時に市役所で結団式を行い、左藤市長から激励の言葉を受け、一人ひとりに市のマークがついている帽子をかぶせていただき、家族やいろいろな人たちに見送られ、海老名を後にしました。

バスの中で、市内の小学校の代表として選ばれた人たちとお友達になりました。私の隣に座っていた前田瞳さんは、私が気分が悪かったとき、とてもやさしくしてくれました。そのほかの人たちも、みんな良い人ばかりで、私は「よかった」と思いました。

白石市には、午後一時ごろに到着しました。着いたときの第一印象は、「広々とした田園が広がり、緑がたくさんあってとても子どもが元だな」と感じました。

この日は、福岡小学校と大鷹沢小学校を視察見学しました。福岡小学校では白石市のことを教えていただきました。面積二百八十六平方㌔㎡、人口四万二千人、海老名市と比べてみると面積は十一倍、人口は三分の一でした。人口が少ないのでゆったりしていなと思いました。特産品は赤沼郎こけし、白石和紙、温麺（ラーめん）など、いろいろなものに恵まれていることがわかりました。

次に大鷹沢小学校に行きました。大鷹沢小学校の人たちは、自分たちで遊び方を考えて休み時間に遊んでいるそうです。みんなで「ヘビオニ・パート3」という遊びをしました。とておもしろかったです。この学校では創意あるこを大切にしているそうです。

この日の最後の出来事は歓迎交流会でした。たくさんの白石市の人たちに歓迎してもらったので、歓迎交流会が終わると、お世話になるおばさんたちと、山の中の北斗山荘という別荘に向かいました。ここの山は、キツネが出たり、秋になるとクマが出るそうです。クマはもちろんキツネにも会ってみたかったです。

ありがとう楽しい夏の思い出

女子豆記者　上光咲子さんの報告

別荘に着いたときは、白石市の子供たちが私たちを迎えてくれました。夕食作りをみんなで手伝っているうちに、白石市の人たちと仲良しになりました。この日の夜は、白石市のお友達といろいろ楽しいおしゃべりをしました。

二十一日の朝は、五時半に起きて、生まれたばかりの牛の乳搾りに行ったり、風船ドームやミニトランドに行って遊びました。

この日の九時からは、野球の交流試合がありました。一試合目の三回裏まで見てから、私たち豆記者は取材のため、白石和紙の工房とこけし工房を見学しました。白石和紙は札入れ、表装などの飾りにも利用され、民芸品的味わいが珍重されています。

その次は、こけし工房を見学しました。始めに私たちは、こけしの色付けをやりました。とても興味深かったです。民家にはクロを備えた作業場があり、ひなびた味わいのこけしが毎日生産されています。この二カ所を見学してわかったことは、真心を込めて一つひとつていねいに作られているということです。

お昼は、野球場の隣で、お世話になっているおばさんたちの、手作りのお弁当をいただきました。野球の結果を聞いたら一勝一敗で、今年も引き分けだったそうです。

次に行ったスパッシュランドは、いろいろな施設があってとても楽しかったです。例えば五十㍍プール、ウォータースライダー、リーデゾーンです。迫力があったのはウォータースライダーです。高さ五㍍の所から滑りりました。バーデゾーンでは泡湯が体に心地よく、ゆったりとした気分になりました。

半日をこの楽しいゾ石、北斗山荘の近くの小学校で、もちつきとバーベキューの集いがありました。杉久保小学校の山田政長先生は、もちつきがとても上手なので びっくりしました。バーベキューのお肉がまらかく、本当においしかったです。その後はぐっすり眠ることができました。

最終日の二十二日は、白石の街

母と子のおはなしひろば

市図書館では、図書館から遠い地域のお友達のために、巡回おはなし会を開きます。絵本の読み聞かせに興味のあるお母さんもご一緒に参加を。

▽とき　9月24日（金）午後3時20分～3時50分▽ところ　下今泉自治会館▽対象　4歳以上のお子さんとお母さん▽内容　おはなし、絵本、紙芝居など▽希望者は直接会場へ。お問い合わせは市図書館（☎31・5152）へ。

10月の自動車文庫

巡回場所	巡回日	時間
今里八幡宮	7・21(水)	午後3：30～4：00
大谷コミュニティセンター	7・21(水)	午後2：30～3：10
柏ケ谷コミュニティセンター	7・21(水)	午後3：00～4：00
柏ケ谷第2児童公園	26(火)	〃
かしわ台児童公園	1・15・29(金)	〃
門沢橋児童館	26(火)	〃
神奈川県蚕業センター	1・15・29(金)	〃
上今泉第2児童公園	14・28(木)	〃
国分寺台第4児童公園	5・19(火)	〃
さくらい幼稚園南側空き地	6・20(水)	〃
下今泉テニスコート	13・27(水)	〃
社家児童館	5・19(火)	〃
杉久保第2児童公園	13・27(水)	午後2：30～3：00
杉久保富谷児童公園	8・22(金)	午後3：20～4：00
中野自治会館	5・19(火)	午後3：20～4：00
浜田歴史公園	14・28(木)	午後2：30～3：00
東柏ケ谷4丁目自治会館	6・20(水)	午後3：00～4：00
本郷児童館	13・27(水)	午後2：30～3：00
望地道上公園	14・28(木)	午後3：20～4：00

◎読みたい本や探している本が自動車文庫の棚にないときは、リクエストをどうぞ！◎雨のときは、中止になります。問い合わせは市図書館（☎31・5152）へ。

まんまる赤ちゃん

中村泰樹くん
大谷一一歳二カ月
中村義之・典子さんの長男

お姉ちゃん（2歳）と毎日外で遊んでいるので、まっ黒に日焼けしています。特に、水遊びが大好きで、外ではもちろんのこと、家の中でも二人で洗面台へいすを持ってきて、水を出してはびっしょりになって遊んでいます。

性格はおとなしいほうですが、毎晩、お父さんとプロレスごっこをする活発なところもあります。

将来は健康でたくましい子に…。できれば、野球選手になってほしい。

内田薫仁くん
杉久保一一歳一カ月
内田均・知絵さんの長男

お話しをするのが好きで、絵本を見ながら一人で何かしゃべり続けています。

最近、あんよがすっかり上手になり、おじいちゃんと一緒に散歩にでかけるのが楽しくて仕方ないのか、玄関まで歩いていっては「外に行きたい！」と催促します。

食欲おう盛で、特に果物が大好き。バナナだと2本はペロリと食べてしまうので、びっくりしてしまいます。

相川優太くん
河原口一一歳二カ月
相川順一・かおるさんの三男

自分自身をしっかりと見つめながら育っていってほしい。

家の中を元気よく走り回っているので、けがも絶えません。障子をビリビリに破いたり、テレビのリモコンをかじって壊すなど、いたずらも盛んです。

テレビから音楽が流れてくると、手をたたいたり、腰に手をあてて元気よく踊ります。遊び疲れて眠くなると「ネンネ」と言って、お気に入りのタオルを顔にあてて、一人で寝てしまいます。

人の気持ちのわかる思いやりのある子になってほしい。

10月の文化会館

日(曜)	内容	開演	終演	入場方法	主催者
2(土)	海老名市中学校総合文化発表会	13：30	18：00	自由	市教育委員会 (31)2111
3(日)		10：00 13：15	12：00 17：00		
17(日)	日本詩吟学院岳風会神奈川県本部大会	9：30	16：00	自由	日本詩吟学院岳風会 (38)1741
24(日)	エビナクラシックバレエスクール発表会	15：30	19：00	自由	エビナクラシックバレエスクール (34)3916
30(土)	平成5年度海老名市民文化祭(大谷歌舞伎)	14：00	17：00	自由	市教育委員会 (31)2111
31(日)	第12回海老名市交通防犯市民のつどい	12：00	15：30	自由	第12回市交通防犯市民のつどい実行委員会 (31)2111

○問い合わせは主催者へ。
○主催者の都合で変更になる場合もあります。
○関係者だけの催しは掲載していません。○今月の休館日は5、12、19、26日です。

平成5年度文化講演会

内藤國雄氏を迎えて「近頃私の思うこと」

将棋の内藤國雄九段を迎えて「近頃私の思うこと」と題し、文化講演会を開催します。

▷日時　11月3日（水）午後2時から▷ところ　市文化会館▷対象　市内在住在勤者▷申し込み　電話で市中央公民館（☎32・3231）へ。定員1100人先着順。入場料は無料です。

内藤國雄九段経歴　昭和14年、神戸市生まれ。故藤内金吾八段入門、阪田三吉の孫弟子。42年A級八段、49年九段、棋戦優勝は王位、棋聖、王座、棋王ほか。58年、神戸市より文化特別賞受賞、平成3年、西宮市より市民文化賞受賞。著作は最新刊"自分史。一「駒の音有情」。レコードは「おゆき」「浪花ふたりづれ」ほか。

みんなの児童館

文化祭に出す作品を作ろう

10月の日程

社会教育指導員が各児童館などをまわって、手づくりおもちゃの作り方や子供に合わせたいろいろな指導をしています。

10月の内容は「文化祭出品のための作品を作ろう」「一年間に作ったもののなかからリクエストしましょう」。参加費は無料。参加希望者は直接会場へ。問い合わせは社会教育課（内686・687）へ。それぞれの児童館などの巡回指導日は次のとおりです。

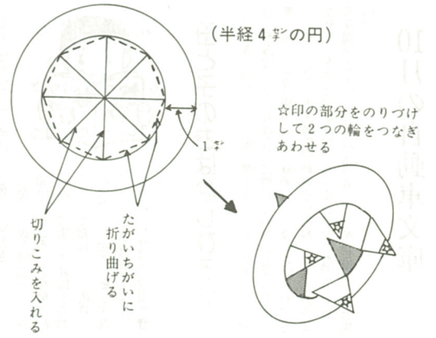
時間はAが午前9時半から正午まで。Bが午後1時半から4時半までとなります。

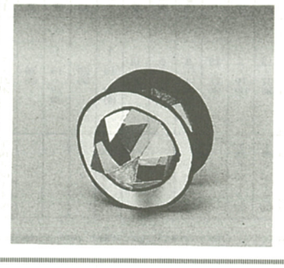
◇国分児童館　6日B、12日B、21日B、30日B
◇大谷児童館　3日A、6日B、13日B、26日B
◇国分寺台児童館　1日B、15日B、19日B、27日B
◇河原口児童館　3日A、8日B、12日B、27日B
◇上郷児童館　8日B、12日B、23日B、28日B
◇社家児童館　6日B、14日B、21日B、28日B
◇杉久保児童館　6日B、13日B、21日B、26日B
◇本郷児童館　8日B、13日B、29日B
◇門沢橋児童館　2日B、9日A、14日B、24日B
◇上河内児童館　2日B、12日B、27日B
◇勝瀬文化センター　7日B、13日B、22日B、26日B
◇柏ケ谷コミュニティセンター　7日B、16日B、22日B、27日B
◇今泉コミュニティセンター　1日B、9日A、14日B、27日B
◇上今泉コミュニティセンター　1日B、10日A、24日A、28日B
◇中新田コミュニティセンター　5日B、14日B、28日B
◇今里自治会館　5日B、13日B、29日B
◇下今泉自治会館　5日B、13日B、29日B

作ってみませんか　くるくる"かざわ"

【材料】
①厚紙（菓子箱などでもよい）②はさみ③のり④コンパス⑤定規⑥マジックまたはクレヨンなど

【作り方】
①厚紙で半径4㌢ぐらいの円を二つ作る。
②図のように中を八等分し、ナイフで切りこみを入れ、三角の羽根の部分をたがいちがいに折り曲げる。③同じものをもう一つ作り、色を塗って、内側に折った羽根の部分で二つの輪をつなぎ合わせる。





【遊び方】
風の強い日に外で遊んでみましょう。クルクル回ってきれいです。

10月の健康案内

急患のときは…

医師会の協力を得て次の救急医療を行っています。

☆休日の昼間

▶内科・小児科　▷場所＝休日急患診療所（さつき町41、市健康センター内、☎31・1912）▷受付時間＝日曜・祝日の午前9時～11時半、午後2時～4時半

▶歯科　▷場所＝休日歯科診療室（さつき町41、市健康センター内、☎31・1939）▷受付時間＝日曜・祝日の午前9時～11時半、午後2時～4時半

※保険証、診察料を忘れずに。耳鼻咽喉科は市外の休日急患診療所を紹介します。

☆夜間

☎32・0108
☎32・0119

テレホンサービスで医療機関を紹介します。
または市役所　☎31・2111

急病でない限り平日の昼間に

6番目の栄養素？

野菜を食べて成人病の予防

最近、ダイエットに関心のある方などは、特に"食物繊維"という言葉をよく聞くのではないでしょうか。

食物繊維というのは、人の消化酵素で消化されないセルロース、ペクチンなどの難消化性成分のことをいいます。

食物繊維の働きとして以前からよく知られていたのは、便通を良くする働きですが、このほかに成人病の予防に効果があることがわかり、改めて注目されるようになりました。

例えば、
①血清コレステロール値や中性脂肪量の上昇を抑える働き
②血糖値の上昇速度をゆるやかにする働き
③動脈硬化・大腸がんの予防効果

などが認められています。

では、食物繊維はどんな食品に含まれているのでしょうか。

穀物、芋、種実、豆、野菜、果実、きのこ、海藻などに多く含まれています。

日本人の食物繊維の摂取量は、年々低下してきており、毎日の食事には必ず一、二皿の野菜料理を付けるようにしたいものです。比較的、朝や昼の忙しいときなどには簡単な食事で済ますことが多いので、一皿でも野菜料理などを付ける工夫が大切です。

しかし、食物繊維は消化されにくいものです。それだけに、量が過ぎると下痢を起こすこともあり、カルシウムや鉄分の吸収を妨げるという逆効果もあります。

タンパク質、脂質、糖質、ビタミン、ミネラルの五大栄養素に次いで六番目の栄養素として注目されている食物繊維を、バランスのとれた食事から無理なく摂り、成人病を予防しましょう。（保健婦メモ）

がん検診

保健相談センター（☎35・7880）

十月三十一日（日）保健相談センターで次の四種類のがん検診を行います。

▼胃がん▲
午前八時半～十一時受付▽対象　四十歳以上の方▽内容　胃透視・胃カメラ▽受診料　五百円。

▼大腸がん▲
午前八時半～十一時受付▽対象　四十歳以上の方▽内容　便潜血反応検査▽受診料　百円。

▼乳がん・子宮がん▲
午前十時～十時半と午後一時～一時半受付▽対象　三十歳以上の方▽内容・受診料　乳がんは問診と触診で百円、子宮がんは問診、細胞診、頸がん検診（内診）の三検診で四百円、この三検診と体がん検診（問診などの結果で必要と判定された方のみ）で八百円。

▼肺がん▲
午前八時半～十一時と午後一時～二時受付▽対象　四十歳以上の方▽内容・受診料　問診と胸部エックス線間接撮影で百円、これに喀の細胞検査（問診の結果必要と判断された方のみ）で四百円。結核などの胸部の病気の早期発見もできます。

※以上の申し込み・問い合わせは保健相談センターへ。

10月8日（金）市役所、午前10時～正午と午後1時～4時、成分献血も行います。
10月12日（火）海老名駅東口、午前10時～正午と午後1時～4時（主催：青年会議所）
10月31日（日）保健相談センター、午前9時半～正午と午後1時～2時半（主催：国際ソロプチミスト）
☆ご協力ありがとう－8月分
海老名駅東口　106人、サティ海老名店　72人、東芝精機㈱　55人。

父親教室

十月十三日（水）午前九時～九時半受付▽対象　初めて父親になる人▽内容　育児・赤ちゃんのお風呂の入れ方、妊娠、出産、産後における夫の役割（予約制）▽会場・申し込み　保健相談センターへ。

予防接種

ポリオ（急性灰白髄炎）生ワクチン接種を次のとおり行います。時間はいずれも午後一時半～二時半受付です。

十月十三日（水）社家児童館、十五日（金）柏ケ谷コミュニティセンター、二十二日（金）保健相談センター、十一月二日（火）国分寺台児童館、五日（金）国分コミュニティセンター、十六日（火）保健相談センター▽対象・方法　生後三カ月から四歳未満の乳幼児。できるだけ十八カ月以内に六週間以上の間隔で二回服用。四歳未満であれば間隔が長くても受けられます。▽申し込み　当日、母子手帳と予防接種問診票（会場でも配布）を持って直接会場へ。▽問い合わせ　保健相談センター。

歯科相談

歯科医療全般についての相談を受けたいというご要望がありましたので、相談にのってくださるのは、市歯科医師会医師です。相談日は毎月第一木曜日です。（予約制）▽会場・申し込み　保健相談センター。

医療相談

治療上の悩みや、医師へのかかり方など、医療全般についての相談を受け付けています。相談にのってくださるのは、東海大学医学部名誉教授・日本産科婦人科学会評議員の藤井明和先生です。相談日は毎週火曜日と木曜日です。（予約制）▽会場・申し込み　保健相談センター。

健康・栄養相談

十月十八日（月）市役所、二十日（水）保健相談センター、午前九時半～十一時受付▽対象　成人の方▽内容　健康全般についての相談▽申し込み　当日、直接会場へ▽問い合わせ　保健相談センターへ。

乳幼児の健診と相談

保健相談センター　☎(35)7880　　厚木保健所海老名支所　☎(32)7911

事業名	月日・受付時間	会場・問い合わせ	対象	内容	申し込み
3カ月児健康診査	10月28日(木)　13:00～14:00	厚木保健所海老名支所	5年6月生まれの人	診察、身長・体重測定	直接会場へ
7カ月児健康相談	10月22日(金)　9:30～10:00	保健相談センター	5年2月生まれの人	身長・体重測定、栄養・育児・歯科相談	〃
1歳6カ月児健康診査	10月21日(木)　13:00～13:30	〃	4年4月生まれの人	診察、身長・体重測定、歯科検診	〃
3歳児健康診査	10月15日(金)　13:00～14:00	厚木保健所海老名支所	2年9月生まれの人	診察、身長・体重測定、歯科検診	〃
離乳食講習会	10月8日(金)　9:30～10:00	保健相談センター	5カ月～7カ月児を持つ保護者	離乳食のつくり方、与えるときの注意	〃
小児整形外科相談	10月7日(木)　13:00～13:30	〃	18歳未満で特に心配のある人	身体障害者のある乳幼児の早期発見、治療と療育指導	予約制
幼児歯科相談	10月13日(水)　13:00～14:30	〃	1歳7カ月児～2歳11カ月の幼児	歯の検診と磨き方(歯ブラシ、母子手帳持参)	直接会場へ
お誕生前健康診査	対象は生後10カ月からお誕生日前までの乳幼児。指定された医療機関でお受けください。				

※検診または相談を受ける方は必ず母子健康手帳を持参してください。

フォトピックス

3千2百人が参加

福祉のつどいで交流

八月二十九日、市総合福祉会館で「福祉のつどい」が行われた。

当日は約三千二百人が訪れ、会場の大広間では、マジックショー、大正琴演奏、演芸などが行われ、屋外では車いす体験、もちつき大会や各団体による金魚すくい、綿菓子などの模擬店も。福祉スタンプラリーでは、約三百人が目かくしをされて誘導されたり、点字で名前を書くなど四地点を回った。参加者からは「障害者の気持ちが少し分かった」、誘導では「こわくて歩けなかった」などの感想があった。

目が見えないって大変

お母さんも作った

縄文土器に59人が挑戦

「縄文土器って難しいね」

八月二十四日から二十六日まで中新田コミュニティセンターで夏休み歴史教室「小さな縄文土器を作ろう」が開かれ、三日間で延べ二十四組五十九人が参加した。

市教育委員会が、楽しみながら郷土の歴史を学んでもらおうと開いたもの。市販の粘土を使って実物の四分の一程度の縄文土器を製作。

最初は子供の面倒をみていたお母さん方も、途中からは自分の作品に熱中。出来上がりを親子で批評しあっていた。

少しゆがんでない

ヒマワリ道路が満開

青健連が8千本配布

大きく育ったヒマワリの苗

青少年の健全育成の一環として、有馬地区青少年健全育成連絡協議会（今井和男会長）は、有馬中学校区の通学路にヒマワリ数百本を今年五月に植えた。

通学を楽しくし、環境美化にも役立つと今年度から「ひまわりキャンペーン」とネーミングして始めたもので、八千本の苗を小・中学校五校と幼稚園二園の子供たち全員にも配布した。

苗は、冷夏で成育が遅れたものの、開花してからは道行く人の目を楽しませている。役員からは「子供たちがヒマワリのように、暑さにも負けず、風に倒れても太陽に向かっていく強さを持ってもらいたい」と話していた。

道路清掃に尽力

今里福寿会を表彰

九月三日、市役所で今里福寿会（三田喜太郎会長、82人）が平成五年度道路愛護等建設大臣表彰を受けた。

これは、道路交通の安全、道路愛護などの功績が顕著な団体または個人に贈られるもの。

同会は、昭和五十一年以来今里地区の道路の空き缶、ごみ拾いなどの清掃を定期的に行っている功績が認められたもので、平成三年にも県知事から表彰を受けている。

会員からは「今後も続けて行きたいが、みなさんもごみを捨てないで」の声が。

表彰を受ける今里福寿会三田会長（左端）

海老名むかしむかし

☎33・3838（みわみわ）

電話で海老名の昔ばなしが聞けます。

8月31日～9月20日　第142話　名尻川の由来
9月21日～10月12日　第143話　久目の東大地震と関門橋

海老名むかしばなし

第310話　土竜（もぐら）騒動

鎌倉北条末期のことだという。菜種梅雨に続いて来る日も来る日も雨ばかりで、長流相模川には濁流が渦巻きあふれ、雨瀬もなく降り続く豪雨に、海老名耕地は遂に満々たる湖水のようになってしまった。

川沿いの村落が続々と水没していったある日、激しい雨の中を網代笠だけで蓑もつけない一人の旅僧が台地の村を回って、川沿いの人たちを救ってくれるようにと頼み歩いていた。

横しぶきの中に立ったその姿は、滝壺の飛瀑に姿を現した竜神のようだった。その姿に身振いするような霊気を感じた村長が、

「あなたはどういうお方ですか」

と尋ねると、

「風雨雷神を従え、天文気象を司る諏訪明神である。相次ぐ天変地変は、天理をわきまえぬ横暴な為政者と、世の秩序を守らぬ世俗が人道を無視したため、四季の運行が狂い、五雨十雨（注）の律が崩れてしまったためである。田畑は荒れて五穀は実らず、やがては飢えたる流民が天下にあふれて、この世は生きながらの地獄となるであろう。難民を救うため天意に従って、仮りに僧形となって飛錫しているのである」

この言葉を天の声と聞いた台地の人々は、水没地帯の被災者を受け入れることを互いに誓い合った。着のみ着のまま難民は、陸続として台地へ避難したが、このとき動物たちもみんな台地へ台地へと逃れたが、目に見えない力に誘導されているように、更に安全な場所へ移動していった。

しかし、土竜だけは例外だった。隔絶された地中の生活になれて共存共生の意識がなく、独善的だったので、台地へたどり着くと穴を見つけ次第に、見境もなく勝手に潜り込んでしまった。そのため、台地に先住していた土竜の生活に大混乱が起きた。先祖代々の土地と、営々と築いてきた住居を突然闖入してきたよそ者に勝手に占拠されたのだから、さぞ腹が立ったことだろう。

昔この地には、鼻白土竜と鼻黒土竜がいて、台地と川沿いの低地に別れて住んでいたという。もともと同じ仲間で、鼻先の毛が黒いか白いかだけの違いであるのに、いつからともなく、鼻白土竜は自分たちが優れていると自惚れて、台地の鼻黒土竜を馬鹿にするようになったが、それがこうした行動になったのだろう。

鼻黒たちは何度も移動するよう説得したが、鼻白土竜は説得も誘導も無視して居座り続けたので、鼻黒土竜たちは自分たちの生活を守るため鼻白追放を決議して穴より追い出し、続いてたどりつく鼻白共々ことごとく濁流へ追い落としてしまった。

このとき以来、鼻白土竜は全く姿を消してしまったと伝えられているが、独善を避けて秩序を守っていれば絶滅の悲運は免れたのであろう。

「この土竜騒動は単なる伝説ではなく、鼻白土竜は特権階級をさしたもので、奥深い教訓と理解すべきだろう」

とは、この話を度々してくれた古老が、何度も最後に結んだ言葉だったが、法と秩序を守ることが大切であることを説いたものだったに違いない。

昔の人たちは、後の世のことを考えて、子孫のために興味深い教訓を数多く残しているが、土竜騒動もその一つであろう。何気なく聞かされ、うっかり聞き流している古い話の中にも、味わうべき教訓が秘められていることを悟るべきである。土竜騒動はありふれた昔話や寓話としてでなく、身近な現実問題として厳しく受け止め深刻に考えなければならない話ではなかろうか。

昔話がただ面白いというだけの興味本位のものばかりだったら、子供だましの作りごとの誘りを免れないだろうし、やがては伝承の意義はなくなり、語り伝える価値を失ってしまうだろう。昔話本来の使命は、事実を語り伝えるとともに、その時代の世の姿を冷厳に見据え、さらにその時代背景にも思いを巡らし、先人の意図教訓も伝えるべきものだろう。

最近は社会生活の本質をわきまえず、集団生活に適応できない人間が増えつつあると言われている。自己中心の生活ばかりが先行して、周囲のことを考えないという風潮の中で生活している人たちの中には、鼻白土竜的人間が多いような気がしてならないが、生活環境にも土竜騒動の起こる素地は至るところに存在する。

天変地変の折、交通、輸送、通信をはじめエネルギー、食糧、水の問題を含めてパニックが起きないという保証はない。東京直下型の地震や、南関東大地震七十年周期説が話題になっている昨今である。人間社会に土竜騒動を起こさないためにも、平生、物心ともに用意しておく必要があろう。

平和で豊かな時代なればこそ、なおさら「治にいて乱を忘れず」でありたいものである。明治以来、年寄り子供のたわ言として抹殺され消滅してしまった話がたくさんあるが、この土竜騒動の伝説は身近な問題として再考してみたいものである。

（注）五雨十雨…雨は順いどおりに程よく降ってくれるものではないが、正しい政治が行われて世の中がよく治まっていると、必ず五日目十日目に沃霖（よくりん）慈雨が田畑を潤し、五穀が豊かに実るとされていた。

（小島　直司）